

(様式1)

平成29年度 学校評価結果報告書(高等学校用)

(1) 学校教育目標	校訓の精神のもと、あらゆる教育活動をとおして、よりよく問題を解決する力や豊かな人間性、健やかな体などの生きる力を育むとともに、地域産業の担い手としての資質・能力を身に付けさせ、社会の発展に貢献できる人材を育成する。
(2) 現状と課題	今日の地域状況をふまえ、意欲ある生徒を確保し、次代を担う職業人を育成することが本校の役割と考える。そのため、特色ある取り組みや進路状況等を確実にアピールしていくこと、基本的な生活習慣の確立と基礎学力の定着に継続して取り組むこと、キャリア教育を更に充実することが必要である。その上で、各学科の教育内容を生かしながら、新しい理論や技術等を導入したプロジェクト学習等を積極的に推進していかなければならない。
(3) 重点目標	1 基礎・基本の習得と定着を図り、実社会で必要とされる主体的に学習に取り組む態度や思考力、判断力、表現力などの能力を育成する。 2 農業や環境、地域社会に関する学習を深め、生命や自然、郷土を大切にすることや他を思いやる心などの豊かな人間性を育成する。 3 食育や健康・安全教育への取り組みを推進し、たくましく生きるための健康や体力、安全で快適な生活を送ろうとする態度を育成する。
(4) 結果の公表	本校ホームページに掲載する。

学校整理番号	42
学校名	青森県立柏木農業 高等学校
全日制の課程	校舎・分校
自己評価実施日	平成30年 1月18日(木)
学校関係者評価実施日	平成30年 2月 6日(火)

(9) -イ 学校関係者評価委員会の構成
学校評議員4名、PTA会長 計5名

自 己 評 価				学校関係者評価	(10) 次年度への課題と改善策	
番号	(5) 評価項目	(6) 具体的方策	(7) 具体的方策による目標の達成状況	(8) 目標の達成度	(9) -ア 学校関係者からの意見・要望・評価等	
1	学習指導の充実	①生徒や保護者、地域社会のニーズに対応した教育課程を編成し、生徒の多様な進路希望に対応できる学習機会を保障する。 ②学習内容や教材、指導方法の創意工夫を図り、「わかる・できる」授業の実践から、基礎学力の定着と技能の習得・向上に努める。 ③資格取得や多面的総合的評価の推進を図り、意欲を持って主体的に学習に取り組もうとする態度を養う。	①学習指導要領と生徒の実態等を考慮した教育課程の編成に努め、各教科・科目とも特に問題なく取り組むことができた。 ②研究授業、公開授業を計画的に実施した。今後、具体的改善点等を授業に反映できるように工夫していきたい。また、初任者研修の協力校研修の機会を利用し、校内研修を実施した。 ③朝の時間を利用して、学び直しや一般常識問題等に取り組ませた。各教科・学科では、資格取得に向けて、放課後や長期休業を活用して独自に対応した。また、外部企業・団体とも連携して取り組み、就職希望者への手立てとなっている。	B	・一般常識等、社会で通用する基礎・基本的な学力が身に付くような指導をお願いしたい。 ・4年制大学への進学は数名いるようだが、地元の弘前大学に入学できる生徒を育成してほしい。 ・キャリア教育が重要な時代になってきており、今後も様々な活動に取り組み進路指導を充実させてほしい。	・言語活動の充実については、農業科目のプロジェクト学習等で重点的に実施しているところであり、普通教科での授業でも、より積極的にグループワーク等を取り入れるなど、新たな取り組みを計画的に推進していく必要がある。 ・「主体的・対話的な深い学び」への授業改善、発達障害やその疑いのある生徒への対応など、教員が喫緊の課題に対応できる知識や技術等を習得できるように、研修の充実に取り組む必要がある。 ・自主的・自発的な学習を育むための指導成果を進路志望の達成に結びつけるためにも、各種コンテストに積極的に参加させる等、更に工夫した指導法を検討、実践する必要がある。

自 己 評 価				学校関係者評価	(10) 次年度への課題と改善策	
番号	(5) 評価項目	(6) 具体的方策	(7) 具体的方策による目標の達成状況	(8) 目標の達成度		
2	農業・環境教育の充実	<p>①課題研究におけるプロジェクト学習の充実を図り、自ら考え、実践し、表現する力の育成に努める。</p> <p>②温暖化防止や環境保全に対する意識の高揚を図り、新しい理論や技術の導入に取り組む。また、各学科の特色を生かした指導の充実を図る。</p> <p>③春の大市や柏農市など各種イベントを意欲的に開催し、販売実習を積極的に推進する。</p> <p>④農業クラブの研究活動や体験活動を通して、生徒の自主的活動の活性化を図る。</p>	<p>①科目「農業と環境」と「課題研究」において、プロジェクト学習が計画的に実施されており、レポートの作成、発表方法の工夫等において、研究内容や態度が向上した。</p> <p>②絶滅危惧種の保護、ハンカチツリーの植樹に取り組む環境教育など、各学科の特色を生かした指導を行うことができた。</p> <p>③本校独自の実習の他、修学旅行におけるりんご販売等、多くの生徒が販売実習に取り組んだことで、コミュニケーション能力が向上した。</p> <p>④農業クラブ活動では、小学生との交流活動や老人福祉施設でのボランティア活動など、地域との連携を積極的に推進した。</p>	A	<p>・春の大市や柏農市などの販売実習が盛況であり、地域住民からの評判が良いと感じている。今後とも積極的に開催して欲しい。</p> <p>・新聞の報道等で、柏農高の生徒が地域の環境美化に協力していることを知り、感心するとともにうれしく思っている。</p> <p>・鶏が売却され、畜産部門が無くなるのは農業高校としては少し寂しく感じている。</p>	<p>・プロジェクト学習において、地域の課題に着目しながら、研究成果を地域に発信できるようにしていきたい。</p> <p>・地元農家や企業等と連携して各学科の特色を生かした研究活動や地域支援活動等を行ったり、海外研修を企画することにより、キャリア教育やグローバル教育の推進につなげたい。</p> <p>・販売実習における接客の経験は、キャリア教育の観点からも意義があるため、より多くの地域の方に販売実習を周知する方策として広報活動を強化したい。</p> <p>・農業クラブにおいては、大学生等との異世代交流を活発化し、生徒のコミュニケーション能力を高めたい。</p>
3	生徒指導の充実	<p>①基本的な生活習慣や倫理観、規範意識等に関する指導を徹底し、不易で普遍的な価値観の育成に努める。</p> <p>②生徒との望ましい人間関係のもとに生徒理解を深め、他を思いやる心や公共物を大切にすることを育成するために、問題の早期発見や個に応じた適切な指導に努める。</p> <p>③交通安全や不審者等に関する取り組みの充実を図り、事故や被害を未然に防止しようとする態度を養う。</p>	<p>①非行の芽は小さなうちに摘み取る「割れ窓理論」の考え方に立脚し、全教職員が個々の生徒が発する小さなサインを見逃さず、声掛けやその場指導の徹底を継続した。</p> <p>②4月に面談週間を設けることで、早期に生徒理解を深めることができた。また、最近のSNS事情に関する講習会及び教職員による個別指導を実施するなど、生徒がトラブルに巻き込まれることを未然に防止するよう指導を強化した。</p> <p>③交通安全教室や防災訓練等を充実し、日常の注意喚起を効果的に実施するなど、常日頃から事故防止等に努めることができた。</p>	B	<p>・あいさつを含め、容儀やマナー等の指導を徹底してほしい。</p> <p>・部活動や農業クラブの成績が昨年度より向上している。来年度も頑張ってもらいたい。</p> <p>・駅からの通学路に街灯のない部分があり暗くて危険なので、関係機関と相談し設置した方がよい。</p>	<p>・基本的生活習慣が身に付いていない生徒と規範意識の低い生徒に対する対応を更に充実させていく必要がある。そのために、教員個々のスキルの向上と組織的対応を実践しながら、個々の生徒に対してきめ細やかな指導をしていきたい。</p> <p>・見直しされた「学校いじめ防止基本方針」への対応や学校評価への位置付け及びスマートフォンやSNSの正しい利用法の指導の徹底が必要であり、関係機関等と連携した取り組みが大切である。</p> <p>・生徒指導においても、発達障害やその疑いのある生徒への対応が課題であり、教員がその知識や指導方法を習得できるように、研修の充実に取り組む必要がある。また、生徒の実態把握も必要である。</p>
(11) 総括	<p>本校教育活動の評価結果をもとに更に改善を図り、生徒に課題解決能力や豊かな人間性、健やかな体等の生きる力、産業の担い手としての資質・能力を習得させるために邁進していきたい。また、各種コンクールへの積極的な参加、各学科の特色を生かした研究活動、販売実習や商品開発を含めた農業教育を充実・発展させ今後も生徒一人一人が主役の農業高校を目指して誠心誠意努力していきたい。</p>					